

# THANKS

BUSINESS NEWS LETTER

(VOL. 201)

発行日：平成26年3月1日  
発行者：有限会社サクスマインドコンサルティング  
連絡先：〒359-0043  
埼玉県所沢市弥生町1792-10  
TEL:04-2907-1715  
E-MAIL：[info@thanksmind.co.jp](mailto:info@thanksmind.co.jp)  
<http://www.thanksmind.co.jp>

## 特集

### 「経営分析の基本②」・・・「分析」って何？

本誌では、前号から「経営分析の基本（数字から会社の状況を把握しよう!）」という特集をスタートしました。

市場の成熟が進む中で、しっかり会社の状況を把握して、的確に対策を講じることは、どんな会社でも大事なことです。

その一助になれば幸いです。

#### ●質問（その1）：どのようにアドバイスしますか？

ある日、息子さんから、以下のような相談を受けました。

「お父さん、この前の中間テストだけど、5教科500点満点で、300点しか取れなかったんだよね・・・2週間後に期末テストがあるんだけど、何とか50点アップして、350点取りたいと思っているんだ。先生も『350点あれば、お前の行きたい高校の推薦状を書いてあげる』と言ってくれている。でも、どうしたら良いか分からないんだ。どうしたら良いと思う??？」

さて、皆さんは、どのようにアドバイスしますか？

#### <アドバイス①>

「それは、勉強時間を増やすことしかないだろう。

見ていると、毎日、1時間くらい任天堂のDSでゲームやっているよな。

テストまでの2週間、お父さんがDSを預かるから、ゲームの時間を勉強に充当しろ！」

#### <アドバイス②>

そもそも、350点なんて目標が低すぎるんだよ！

400点目指して、必死になって勉強すれば、悪くたって350点くらい取れるだろ。

とにかく、気合と根性で頑張れ！」

### <アドバイス③>

2週間しか無いのだから、全部の教科の点数を上げることは難しいね。  
まずは、得意な科目を伸ばすことを考えたら。  
得意科目なんだから、勉強するのも苦にならないだろ。」

このようなアドバイスをしていませんか？  
上記のようなアドバイスは、全てNG。  
これでは、効果的・効率的な対策を講じることはできません。

単に「5教科で300点」といったって、いろいろな状況がありますよね。  
以下のパターンAと、パターンBでは、やるべきことは同じでしょうか？

|    | <パターンA> | <パターンB> |
|----|---------|---------|
| 国語 | 60点     | 80点     |
| 数学 | 60点     | 30点     |
| 理科 | 60点     | 60点     |
| 社会 | 60点     | 90点     |
| 英語 | 60点     | 40点     |
| 合計 | 300点    | 300点    |

もし、パターンBであれば、足を引っ張っている「数学」と「英語」をまずは、何とかしようと思えることが普通でしょう。  
得意科目である「国語」と「社会」にいくら注力しても、点数としては30点アップの330点までしか増やせませんから。  
こういうのを、世間では「無駄な努力」と言います。  
どうせ努力をするならば、報いられる努力をしないと・・・  
そのためには、まずは、対策を考える前に、しっかり状況を把握することが不可欠です。

|    | <パターンA> | <パターンB>     |
|----|---------|-------------|
| 国語 | 60点     | 80点         |
| 数学 | 60点     | 30点 ⇒ 60点   |
| 理科 | 60点     | 60点         |
| 社会 | 60点     | 90点         |
| 英語 | 60点     | 40点 ⇒ 60点   |
| 合計 | 300点    | 300点 ⇒ 350点 |

## ●質問（その2）： 「分析」とは何か？

「もっと、しっかり分析しろ！」

営業会議に出席すると、成績が上がらない営業担当者が上司から、よく言われています。確かに「分析」は大事です。

しかし・・・

そもそも「分析」というのは、何をすることなのでしょうか？

「状況を把握することですよ」

研修等でこの質問をすると、多くの方がこのように答えます。

「状況を把握すること」は、「分析」の目的であって、「分析とは何？」という質問に対する答えではありません。

「分析」という言葉を辞書で引くと、以下の通りです。

分析とは・・・

「複雑な事柄を一つ一つの要素や成分に分け、その構成などを明らかにすること」

by 大辞泉

ひとことで言えば、**分析とは「大きな塊を細かく分ける」**ことです。  
大きな塊で漠然と見ても、何が良くて、何が悪いかわからない・・・  
それを細かく分けることで、状況を理解するのです。

前ページのテストの例では、まさに、教科という切り口で、中間テストを「分析」したのです。  
「合計で300点」と言っても、漠然としていて、何が良くて、何が悪いのかわかりません。  
それを5教科に「分けて」見ることによって、「数学」と「英語」が問題であり、何とかしなければならぬ、ということが見えてきたのです。

|    |      |    |       |
|----|------|----|-------|
| 国語 | 80点  | ○  |       |
| 数学 | 30点  | ×× | → 問題！ |
| 理科 | 60点  | △  |       |
| 社会 | 90点  | ◎  |       |
| 英語 | 40点  | ×  | → 問題！ |
| 合計 | 300点 | △  |       |

## ●分析は「深掘り」しよう！

さて、期末テストに向けて、「数学」と「英語」が問題であるということは、分析によって明確になりましたが、具体的な対策を考えるためには、まだ、塊として大きすぎではありませんか？

例えば・・・

「数学」といっても、その内容は「幾何」もあれば「代数」もあります。

また、「英語」といっても、「文法」もあれば「読解」もあるでしょう。

もっと細かく分けた方が、より「本質的な問題」がハッキリします。

|    |      |    |
|----|------|----|
| 国語 | 80点  | ○  |
| 数学 | 30点  | ×× |
| 理科 | 60点  | △  |
| 社会 | 90点  | ◎  |
| 英語 | 40点  | ×  |
| 合計 | 300点 | △  |

➔

|    |     |   |
|----|-----|---|
| 文法 | 30点 | △ |
| 読解 | 10点 | × |

例えば、「英語」を更に分けてみると、「文法」と「読解」、それぞれ50点満点に対して、「文法」は30点取れているのに、「読解」は10点しか取れていない・・・

ここまで、明確になれば、「英語」の中でも、特に「読解」が問題であり、ここを重点的に改善しようということが分かるでしょう。

## ●経営分析とは経営を「分ける」こと

ということで、今回は、「分析」についての基本的な考え方を確認しましたが、「経営分析」も全く同じこと。

ひとことで、この会社の経営状態は良い（あるいは悪い）と言ったって、何が良くて、何が悪いかわかりません。

そうした漠然とした「経営」を、いろいろな切り口で分けることが、まさに「経営分析」であり、それによって、経営の状況を把握し、的確な対策を打てるのです。

それでは、どういう切り口で分けられるのでしょうか？

次回ご説明いたします。

<経営分析＝経営を分けること>

|  |  |
|--|--|
|  |  |
|  |  |
|  |  |

<つづきは次回>